

質問2 ホームページの管理と運営について

(該当箇所:p.23 平成 28 年度事業計画>広報部>広報委員会>Ⅱ.第二次作業療法 5 年戦略関連事業>1. 国民に対する作業療法の広報に関すること>1)ホームページの管理と運営 / p.24 同>3. その他の広報・公益活動等に関すること>1)ホームページの管理と運用)

作業療法士の認知度を上げ、社会的地位を確立するためにも広報部の活動は非常に重要であると考えます。そして、広く一般に広める為にも Web 戦略は重要でしょう。ホームページの管理と運営という言葉が 2 回も出てくるくらい協会でもその重要性についてお気づきなのだと思います。

問題はその具体的手段です。「他職種、国民の関心、興味がある資料、広報媒体の充実を図る。」とか「事務局と協力して、一般向け、会員向け情報発信機能を充実する。」など一見正しいことが書かれていますが、これらを具体的にどのように実施するかが全く不明です。

ちなみに、ボクが作業療法士として運営している療法士向けブログ(運営をはじめて約 1 年)と日本作業療法士協会のアクセス数がほぼ同じ(Similar Web での計測)であるというのは過去の戦略が間違っていたとしか言えないでしょう。広く国民に作業療法士の認知度を高める為に新たな取り組みはされるのでしょうか。

回答

このたびは、ご意見をいただきありがとうございます。

協会広報を具体的にどのように実施するかが不明であるとのこと指摘ですが、2015 年度は、ホームページ、パンフレット、広報誌 Opera の制作、映像媒体の制作、作業療法啓発ポスターの制作、一般の方、他職種を対象とした研修会開催等、どのような広報手段がよいのかを都度、検討しながら実施いたしました。

特に、2015 年度に大幅に改変したホームページでは以前と異なり一般向けのページの充実に力を入れております。

OTを知ってほしい方、OTを活用してほしい方、OTになってほしい方という3つのターゲットに対しコンテンツを2つずつ用意し、OTを知ってほしい方には、「はたらくことは、いきること」「OTのスゴ技」

OTを活用してほしい方には、「作業療法士 Q&A」「TEAM OT」

OTになってほしい方には、「私のスタートライン」「こんなところで！作業療法士」

計 6 コンテンツを定期更新しております。

同時に Facebook や Twitter を使って更新内容を発信し、会員の皆様からさらに一般の方へと情報が伝播するような仕組みを取っております。アクセス数についても毎月アクセスログの解析を行い、定期的に検討会議を行っております。

しかしこれで完成というわけではなく、今後も一般の方への周知をさらに進めていくための広報媒体の充実、内容の検討等をホームページと合わせて図っていく予定です。

また Facebook や Twitter につきましては、会員の方への周知をさらに図ることで、その会員の知り合いの輪から一般の方への広報が広がっていければと考えておりますので、会員の皆様もぜひともご協力のほどよろしくお願いたします。